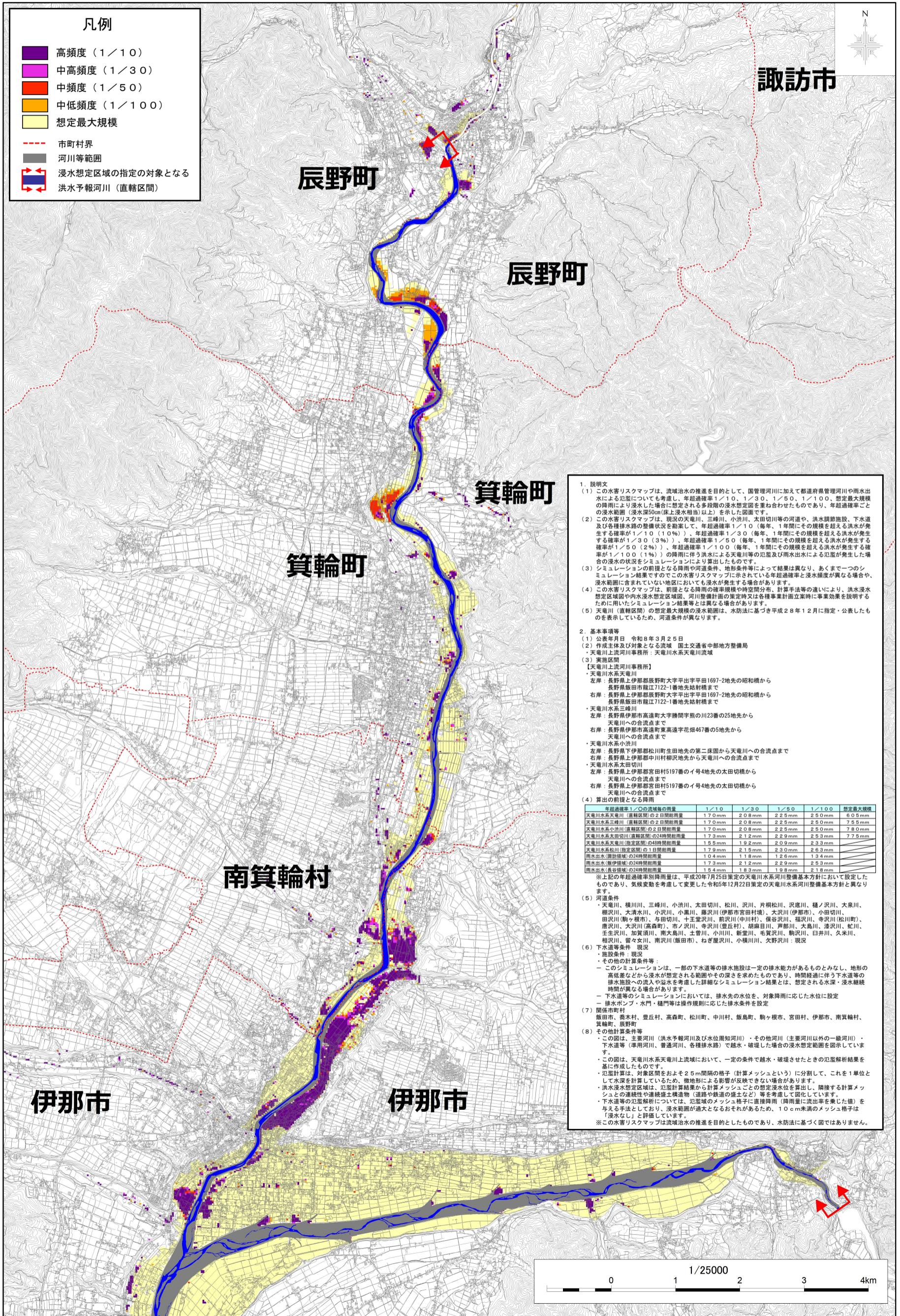


# 天竜川水系 内外水統合の水害リスクマップ

## 【現況河道】 4分の1

浸水深50cm（床上浸水相当）以上の  
浸水が想定される範囲を表示



- 凡例**
- 高頻度 (1/10)
  - 中高頻度 (1/30)
  - 中頻度 (1/50)
  - 中低頻度 (1/100)
  - 想定最大規模
  - 市町村界
  - 河川等範囲
  - 浸水想定区域の指定の対象となる  
洪水予報河川（直轄区間）

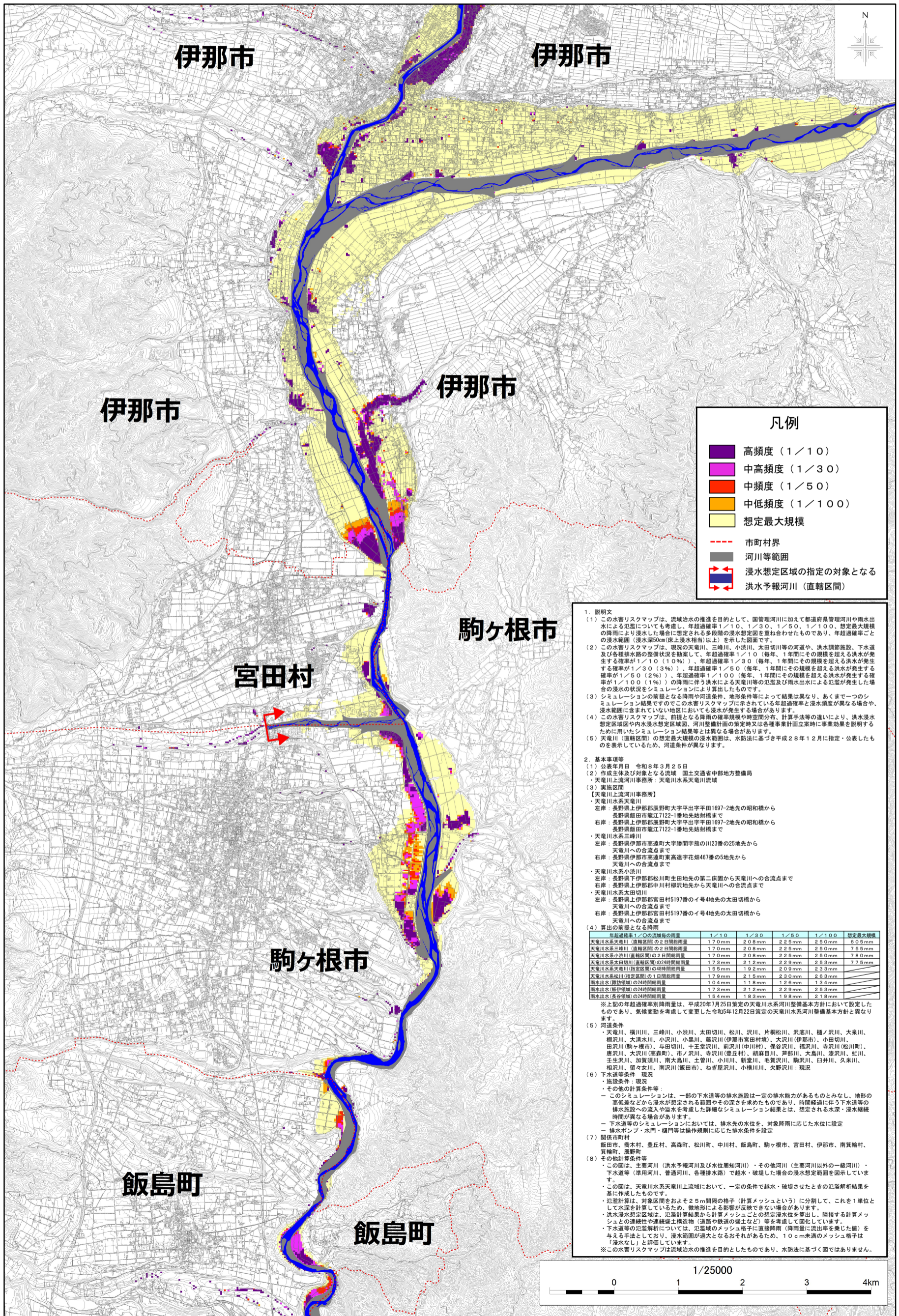
- 1. 説明文**
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定範囲を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深50cm（床上浸水相当）以上）を示した図面です。
  - (2) この水害リスクマップは、現況の天竜川、三峰川、小沢川、太田切川等の河道や、洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水による天竜川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
  - (3) シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですのでこの水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。
  - (4) この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、浸水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。
  - (5) 天竜川（直轄区間）の想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年12月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
- 2. 基本事項等**
- (1) 公表年月日 令和9年3月25日
  - (2) 作成主体及び対象となる流域 国土交通省中部地方整備局
  - ・天竜川上流河川事務所：天竜川水系天竜川流域
  - (3) 実施区間
  - 【天竜川上流河川事務所】
  - ・天竜川水系天竜川
  - 左岸：長野県伊那郡飯田町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から  
長野県飯田市龍江7122-1番地先給排水まで
  - 右岸：長野県伊那郡飯田町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から  
長野県飯田市龍江7122-1番地先給排水まで
  - ・天竜川水系三峰川
  - 左岸：長野県伊那郡高遠町大字勝間字勝の川23番の25地先から  
天竜川への合流点まで
  - 右岸：長野県伊那郡高遠町東高遠字花畑467番の5地先から  
天竜川への合流点まで
  - ・天竜川水系小沢川
  - 左岸：長野県下伊那郡松川町生田地先の第二床間から天竜川への合流点まで
  - 右岸：長野県上伊那郡中川村柳沢地先から天竜川への合流点まで
  - ・天竜川水系太田切川
  - 左岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
天竜川への合流点まで
  - 右岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
天竜川への合流点まで
- (4) 算出の前提となる降雨
- | 年超過確率1/10の流域毎の雨量      | 1/10   | 1/30   | 1/50   | 1/100  | 想定最大規模 |
|-----------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 天竜川水系天竜川（直轄区間）の2日間の雨量 | 17.0mm | 2.0mm  | 2.25mm | 2.5mm  | 6.05mm |
| 天竜川水系三峰川（直轄区間）の2日間の雨量 | 17.0mm | 2.0mm  | 2.25mm | 2.5mm  | 7.56mm |
| 天竜川水系小沢川（直轄区間）の2日間の雨量 | 17.0mm | 2.0mm  | 2.25mm | 2.5mm  | 7.80mm |
| 天竜川水系太田切川（直轄区間）の4時間雨量 | 17.3mm | 2.12mm | 2.29mm | 2.53mm | 7.75mm |
| 天竜川水系天竜川（指定区間）の4時間雨量  | 16.5mm | 1.92mm | 2.09mm | 2.33mm | -      |
| 天竜川水系松川（指定区間）の1日間の雨量  | 17.9mm | 2.15mm | 2.30mm | 2.63mm | -      |
| 流出先（飯田地区）の24時間雨量      | 10.4mm | 1.8mm  | 1.26mm | 1.54mm | -      |
| 雨水出水（飯田地区）の24時間雨量     | 17.3mm | 2.12mm | 2.29mm | 2.53mm | -      |
| 雨水出水（飯田地区）の4時間雨量      | 16.4mm | 1.83mm | 1.98mm | 2.18mm | -      |
- ※上記の年超過確率別降雨量は、平成20年7月25日策定の天竜川水系河川整備基本方針において設定したものであり、気候変動を考慮して変更した令和5年12月22日策定の天竜川水系河川整備基本方針と異なります。
- (5) 河川条件
- ・天竜川、横川川、三峰川、小沢川、太田切川、松川、沢川、片桐松川、沢川、穂ノ沢川、大泉川、横沢川、大清水川、小沢川、小黒川、藤沢川（伊那市宮田村境）、大沢川（伊那市）、小田切川、田沢川（駒ヶ根市）、与田切川、十王堂沢川、前沢川（中川村）、飯谷沢川、福沢川（松川町）、唐沢川、大沢川（高森町）、市ノ沢川、寺沢川（豊丘村）、胡麻目川、戸部川、大島川、漆沢川、蛇川、壬生沢川、加賀須川、南大島川、土管川、小川川、新堂川、毛賀沢川、駒沢川、白井川、久米川、相沢川、原太川、南沢川（飯田市）、ねぎ屋沢川、小横川川、久野沢川、現況
- (6) 下水道等条件 現況
- ・施設条件：現況
  - ・その他の計算条件等
  - このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水等を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。
  - 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定
  - 排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定
- (7) 関係市町村
- 飯田市、高木村、豊丘村、高森町、松川町、中川村、飯島町、駒ヶ根市、宮田村、伊那市、南箕輪村、箕輪町、辰野町
- (8) その他計算条件等
- この図は、主要河川（洪水予報河川及び水位周知河川）・その他河川（主要河川以外の一級河川）・下水道等（準用河川、普通河川、各種排水路）で越水・破壊した場合の浸水想定範囲を明示しています。
  - この図は、天竜川水系天竜川上流域において、一定の条件で越水・破壊させたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。
  - 氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュ）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。
  - 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構築物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。
  - 下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。
- ※この水害リスクマップは流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 739」

# 天竜川水系 内外水統合の水害リスクマップ

## 【現況河道】 4分の2

浸水深50cm（床上浸水相当）以上の  
浸水が想定される範囲を表示



### 凡例

- 高頻度（1/10）
- 中高頻度（1/30）
- 中頻度（1/50）
- 中低頻度（1/100）
- 想定最大規模
- 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる  
洪水予報河川（直轄区間）

1. 説明文  
 (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深50cm（床上浸水相当）以上）を示した図面です。  
 (2) この水害リスクマップは、現況の天竜川、三峰川、小沢川、太田切川等の河川や、洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況を踏まえ、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水による天竜川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況を示したものであります。  
 (3) シミュレーションの前提となる降雨や河川条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですのでこの水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。  
 (4) この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内外水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。  
 (5) 天竜川（直轄区間）の想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年12月に指定・公表したものを表示しているため、河川条件が異なります。

2. 基本事項等  
 (1) 公表年月日 令和8年3月25日  
 (2) 作成主体及び対象となる流域 国土交通省中部地方整備局  
 ・天竜川上流河川事務所：天竜川水系天竜川流域  
 (3) 実施区間  
 【天竜川上流河川事務所】  
 ・天竜川水系天竜川  
 左岸：長野県上伊那郡飯田町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から  
 右岸：長野県上伊那郡飯田町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から  
 長野県飯田市龍江7122-1番地先結針橋まで  
 ・天竜川水系三峰川  
 左岸：長野県伊那市高遠町大字勝間字熊の川23番の25地先から  
 天竜川への合流点まで  
 右岸：長野県伊那市高遠町東高遠字花畑467番の5地先から  
 天竜川への合流点まで  
 ・天竜川水系小沢川  
 左岸：長野県下伊那郡松川町生田地先の第二床園から天竜川への合流点まで  
 右岸：長野県上伊那郡中川村柳沢地先から天竜川への合流点まで  
 ・天竜川水系太田切川  
 左岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
 天竜川への合流点まで  
 右岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
 天竜川への合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨

年超過確率1/100の浸水の雨量	1/10	1/30	1/50	1/100	想定最大規模
天竜川水系天竜川（直轄区間）の2日間の雨量	17.0mm	20.8mm	22.5mm	25.0mm	60.5mm
天竜川水系小沢川（直轄区間）の2日間の雨量	17.0mm	20.8mm	22.5mm	25.0mm	75.5mm
天竜川水系太田切川（直轄区間）の24時間の雨量	17.3mm	21.2mm	22.9mm	25.3mm	77.5mm
天竜川水系天竜川（指定区間）の48時間の雨量	15.5mm	19.2mm	20.9mm	23.3mm	—
天竜川水系松川（指定区間）の1日間の雨量	17.9mm	21.5mm	23.0mm	26.3mm	—
雨水出水（飯田流域）の24時間の雨量	13.0mm	11.8mm	12.5mm	13.5mm	—
雨水出水（飯田流域）の24時間の雨量	17.3mm	21.2mm	22.9mm	25.3mm	—
雨水出水（長谷流域）の24時間の雨量	15.4mm	18.3mm	19.8mm	21.8mm	—

※上記の年超過確率別降雨量は、平成20年7月25日策定の天竜川水系河川整備基本方針において設定したものであり、気候変動を考慮して変更した令和5年12月22日策定の天竜川水系河川整備基本方針と異なります。

(5) 河川条件  
 天竜川、横川川、三峰川、小沢川、太田切川、松川、沢川、片桐松川、沢屋川、樋ノ河川、大泉川、柳沢川、大清水川、小沢川、小黒川、藤沢川（伊那市宮田村境）、大沢川（伊那市）、小田切川、田沢川（駒ヶ根市）、与田切川、十王堂沢川、前沢川（中川村）、保谷沢川、稲沢川、寺沢川（松川町）、唐沢川、大沢川（高森町）、市ノ沢川、寺沢川（豊丘村）、胡麻目川、戸部川、大島川、漆沢川、虹川、王生沢川、加賀須川、南大島川、土管川、小川川、新堂川、毛賀沢川、駒沢川、日井川、久米川、相沢川、霧々女川、南沢川（飯田市）、ねぎ屋沢川、小横川川、穴野沢川：現況

(6) 下水道等条件：現況  
 施設条件：現況  
 ・このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間等が異なる場合があります。  
 ・下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定  
 ・排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定

(7) 関係市町村  
 飯田市、高木村、豊丘村、高森町、松川町、中川村、飯島町、駒ヶ根市、宮田村、伊那市、南箕輪村、箕輪町、飯野町

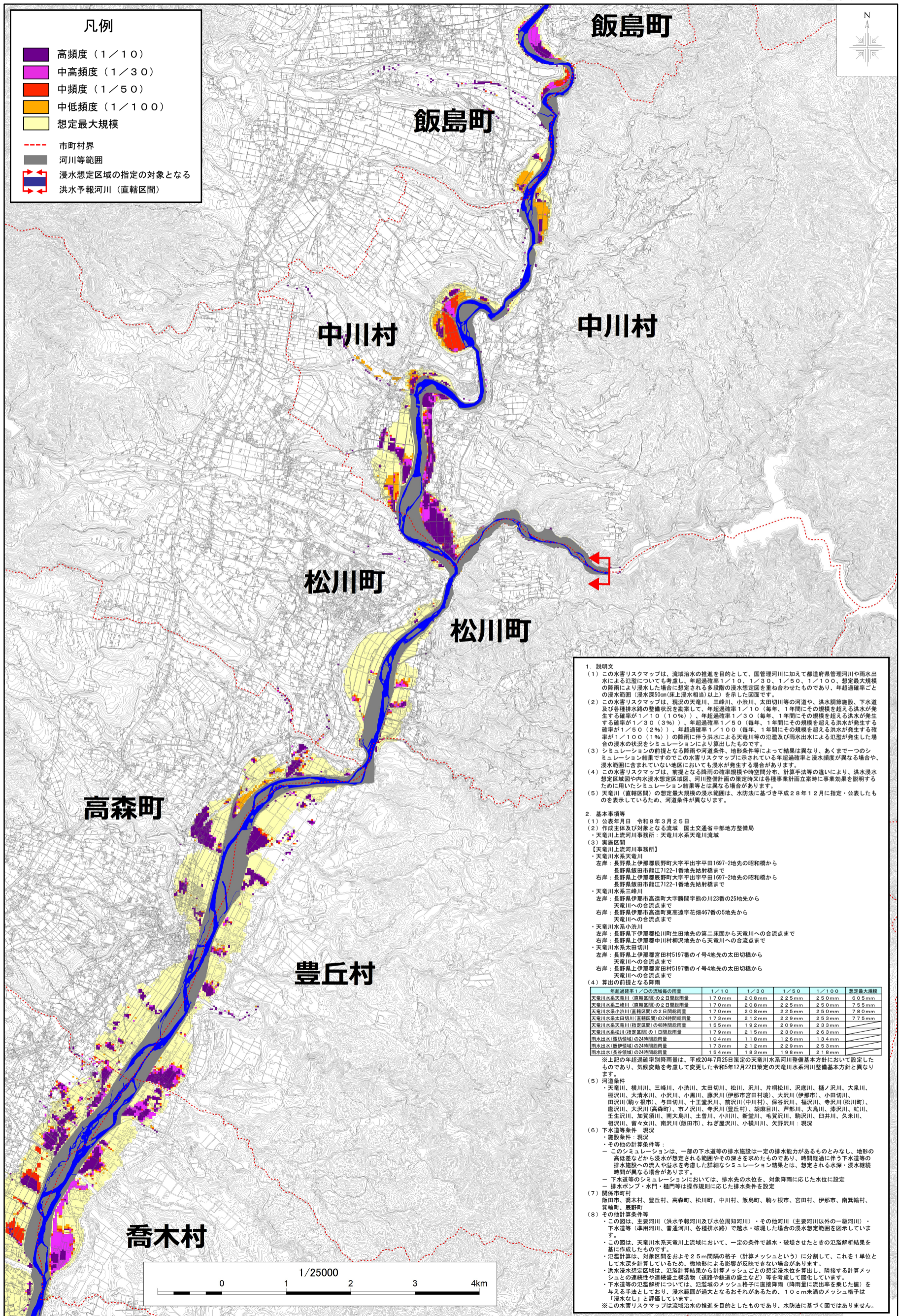
(8) その他計算条件等  
 ・この図は、主要河川（洪水予報河川及び水位周知河川）・その他河川（主要河川以外の一般河川）・下水道等（準用河川、普通河川、各種排水路）で越水・破壊した場合の浸水想定範囲を図示しています。  
 ・この図は、天竜川水系天竜川上流域において、一定の条件で越水・破壊させたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。  
 ・対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。  
 ・洪水浸水想定区域は、氾濫解析結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。  
 ・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と判断しています。  
 ※この水害リスクマップは流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。  
 「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 739」

# 天竜川水系 内外水統合の水害リスクマップ

## 【現況河道】 4分の3

浸水深50cm（床上浸水相当）以上の  
浸水が想定される範囲を表示

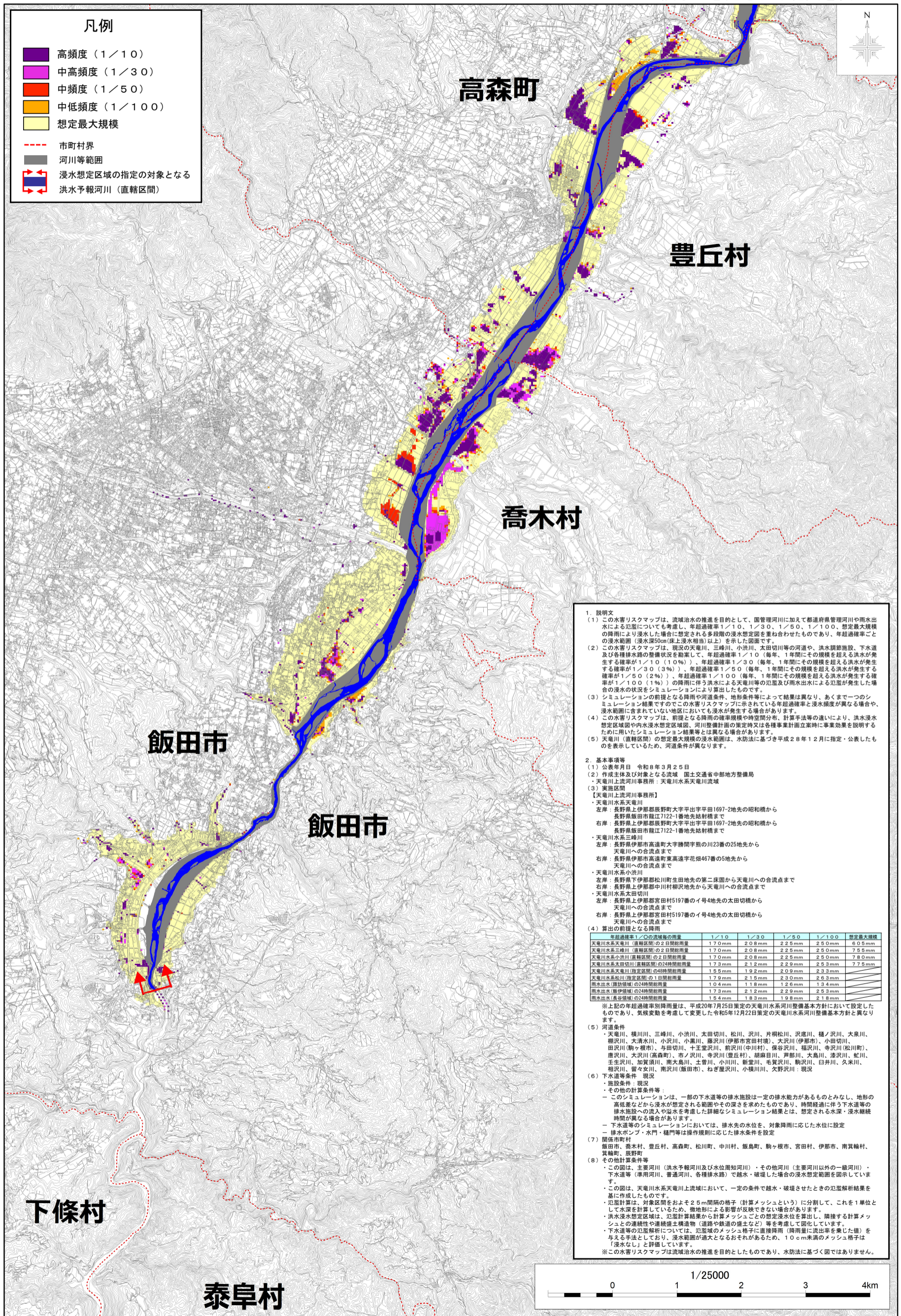


この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 739」

# 天竜川水系 内外水統合の水害リスクマップ

## 【現況河道】 4分の4

浸水深50cm（床上浸水相当）以上の  
浸水が想定される範囲を表示



- 凡例**
- 高頻度 (1/10)
  - 中高頻度 (1/30)
  - 中頻度 (1/50)
  - 中低頻度 (1/100)
  - 想定最大規模
  - 市町村界
  - 河川等範囲
  - 浸水想定区域の指定の対象となる  
洪水予報河川（直轄区間）

**1. 説明文**

(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定範囲を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深50cm（床上浸水相当）以上）を表示した図面です。

(2) この水害リスクマップは、現況の天竜川、三ツ川、小沢川、大田切川等の河川や、洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水による天竜川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) シミュレーションの前提となる降雨や河川条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですのでこの水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。

(4) この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内外水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

(5) 天竜川（直轄区間）の想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年12月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

**2. 基本事項等**

(1) 公表年月日 令和6年3月25日

(2) 作成主体及び対象となる流域 国土交通省中部地方整備局  
・天竜川上流河川事務所：天竜川水系天竜川流域

(3) 実施区間  
【天竜川上流河川事務所】  
・天竜川水系天竜川  
左岸：長野県上伊那郡飯田町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から  
右岸：長野県飯田市龍江7122-1番地先地先射撃場まで  
・天竜川水系三ツ川  
左岸：長野県伊那市高遠町大字勝間字龍の川23番の25地先から  
右岸：長野県伊那市高遠町東高遠字花畑467番の5地先から  
天竜川への合流点まで  
・天竜川水系小沢川  
左岸：長野県下伊那郡松川町生田地先の第二床園から天竜川への合流点まで  
右岸：長野県上伊那郡中川村柳沢地先から天竜川への合流点まで  
・天竜川水系大田切川  
左岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
天竜川への合流点まで  
右岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
天竜川への合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨

年超過確率1/10の浸水の雨量	1/10	1/30	1/50	1/100	想定最大規模
天竜川水系天竜川（直轄区間）の2日間総雨量	17.0mm	20.8mm	22.5mm	25.0mm	60.0mm
天竜川水系三ツ川（直轄区間）の2日間総雨量	17.0mm	20.8mm	22.5mm	25.0mm	75.5mm
天竜川水系小沢川（直轄区間）の2日間総雨量	17.0mm	20.8mm	22.5mm	25.0mm	78.0mm
天竜川水系大田切川（直轄区間）の2日間総雨量	17.3mm	21.2mm	22.9mm	25.3mm	77.5mm
天竜川水系天竜川（指定区間）の4時間総雨量	15.5mm	19.2mm	20.9mm	23.3mm	
天竜川水系三ツ川（指定区間）の1日間総雨量	17.9mm	21.5mm	23.0mm	26.3mm	
天竜川水系小沢川（指定区間）の2日間総雨量	17.0mm	20.8mm	22.5mm	25.0mm	
雨水出水（飯伊流域）の2時間総雨量	17.3mm	21.2mm	22.9mm	25.3mm	
雨水出水（長谷流域）の2時間総雨量	15.4mm	18.3mm	19.8mm	21.8mm	

※上記の年超過確率別降雨量は、平成20年7月25日策定の天竜川水系河川整備基本方針において設定したものであり、気候変動を考慮して変更した令和5年12月22日策定の天竜川水系河川整備基本方針と異なります。

(5) 河川条件  
・天竜川、横川、三ツ川、小沢川、大田切川、松川、沢川、片桐松川、沢川、種ノ沢川、大泉川、鶴沢川、大清水川、小沢川、小黒川、藤沢川（伊那市宮田村境）、大沢川（伊那市）、小田切川、田沢川（駒ヶ根市）、与田切川、十王堂沢川、前沢川（中川村）、保谷沢川、福沢川、寺沢川（松川町）、藤沢川、大沢川（高森町）、市ノ沢川、寺沢川（豊丘村）、胡麻目川、戸部川、大島川、漆沢川、虹川、壬生沢川、加賀須川、南大島川、土管川、小川川、新堂川、毛賀沢川、駒沢川、臼井川、久米川、相沢川、飯々文川、南沢川（飯田市）、ねぎ屋沢川、小横川川、文野沢川：現況

(6) 下水道等条件 現況  
・施設条件：現況  
・その他の計算条件等：  
- このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。  
- 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定  
- 排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定

(7) 関係市町村  
飯田市、高木村、豊丘村、高森町、松川町、中川村、飯島町、駒ヶ根市、宮田村、伊那市、南箕輪村、箕輪町、飯田町

(8) その他の計算条件等  
・この図は、主要河川（洪水予報河川及び水位周知河川）・その他河川（主要河川以外の一般河川）・下水道等（準用河川、普通河川、各種排水路）で越水・破壊した場合の浸水想定範囲を明示しています。  
・この図は、天竜川水系天竜川上流域において、一定の条件で越水・破壊させたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。  
・氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。  
・洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。  
・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を有する手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。  
※この水害リスクマップは流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。  
「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 739」